



長崎県生徒会サミット

1月6日（土） 長崎県勤労福祉会館



西彼杵高校が「生徒会交流専門部」の事務局校になって初めての「長崎県生徒会サミット」が開催されました。事務局校として本校生徒会総務委員会が大会の企画・運営を行いました。そもそも生徒会サミットとは、高文連専門部の部門大会として位置付けられており（例えば吹奏楽専門部の吹奏楽コンクール、放送専門部のNコン）、長崎県独自の事業となります。生徒会の生徒のみなさんが集い、ワークショップに参加したり他校の発表を聞いたりする中で様々なことを学んでいくというものです。本校の生徒会総務委員会の生徒たちは少人数ながらも245名という大人数の集う会を成功へと導いてくれました。事後に実施されたアンケートでも他校の生徒や引率の先生方から高評価をいただくことができました。

さて、実のところ西彼杵高校は発表校としても生徒会サミットに参加しました。発表は生徒会企画委員会による「西彼杵高校に文化の華を」というプレゼンテーションでした。企画委員会の2年生3名が演劇という手法を用いながら、企画委員会発足の経緯とどのような活動をしているのか、今後の展望などを説明しました。「生徒会も文化活動を行える」という実践例を示すことができたのではないのでしょうか。約20分の演劇＋5分の映像＋5分の質疑応答という30分の発表でした。発表した企画委員のみなさんは生き生きと演じ、こちらアンケートでは好評でした。



西彼杵高校生徒会は、「総務委員会」と「企画委員会」という両輪で成り立っています。お互いを認め合いお互いを支え合うことで、西彼杵高校をより輝く学校へと導いていきます。今後とも様々な面においてご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

